

平成30年度「学校評価」にかかるアンケート結果

兵庫県立西宮今津高等学校

1 学校運営の目標・方針

- 「自律」「協同」「創造」の精神を培い、将来に挑戦し、社会に貢献できるこころ豊かで自立した人材を育成する。
- 学ぶ楽しさと学び続ける意欲・能力を育成する。
- 基礎・基本を確実に定着させ、「生きる力」を育む。
- 生命を尊重する心、他を思いやる心など、人間として調和のとれた人格形成を目指す。

2 本年度の重点目標

- 生徒、教職員が一致協力して、校訓「自立」「協同」「創造」の具現化を図り、活力ある校風づくりを目指す。
- 「産業社会と人間」や進路ガイダンスを通じて、望ましい勤労観、職業観を育成するとともに、主体的に進路決定する能力を育てる。
- 保護者や地域社会との連携を図り、開かれた学校をつくる。
- 命と人権を大切に、共に生きる心を育てる教育を推進し、生徒が自らの在り方や生き方を考え、積極的に行動できるようにする。
- 全教職員が資質向上に努め、協力して取り組む体制をつくる。

4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- 学校評価に関する項目について生徒・保護者・教員の3者にアンケートを取り、その結果に基づいて改善策を設定しているの、実施方法としては適切だと思います。
- 生徒と保護者と教員の評価の違い、問題点、改善点がよくわかる。
- 学習内容や指導については、外部からわからないことが多いので、保護者アンケートの結果を重視していただければと思います。
- 学校評価を生徒、保護者、教員で評価し、総合的にその乖離部分を検討し議論することは評価できます。今後もこの方法を推し進めていってほしいです。
- 評価に差がある項目について、どのように検証するかが課題だと思います。

【生徒・保護者・教員】

- A: 5.0～4.2
- B: 4.1～3.3
- C: 3.2～2.4
- D: 2.3～0

【総合評価】

- A: 5.0～4.0
- B: 3.9～3.5
- C: 3.4～3.0
- D: 2.9～0

5 総合的な学校関係者評価

- 学校評価を継続的に行うことに意義があると思います。評価のための評価ではなく、あくまで学校を良くするための手段として今後も実施し、より良い学校になるよう常に真摯に取り組んでいきたいと思っています。
- 生徒は礼儀正しく挨拶でき、指導が行き届いている。学力向上にさらに力を入れてほしい。総合学科の特徴をさらに伸ばし、社会に向け広くPRしていく必要がある。
- 部活動に関して、もう一度適切な配置、部室の確保等を見直してください。
- 学校全体としては、とても落ち着いた印象を受けました。”今津高校ならではの充実した毎日を過ごせる学校であってほしい”と思っています。
- 西宮今津高校の通学路にあたる一人の地域住民として意見を述べさせていただきます。今津高校の生徒たちの自転車通学の「交通マナー」「態度マナー」は概ね良好だといつも感じております。並列に通行することもなく、スマホなどの「ながら運転」もありません。朝、私たちに「おはようございます」と挨拶してくれる子どもたちもいて気持ちが良いです。これは先生方の日々の生活指導の「賜物」だとすごく評価しています。どうかこれからも、こんな素晴らしい子どもたちの良いところを引き出し輝かしてあげてください。
- 組織全体で改善していく姿勢が感じられます。今後も引き続き、重点目標を教職員の皆様で共有し、試行錯誤しながら改善を重ねていただきたいと思います。
- 生徒と教員の方々の評価に差がある項目が見られるが、その要因等も追及されており、今後はより生徒に寄り添った指導等を期待する。地域としては、生徒のための協力は惜しまないつもりだ。

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善)

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
			3.9	B	3.8	B						
学校生活	1	本校の校訓を知っている。	3.9	B	3.8	B			B	<p><総務>校歌歌詞に入っていて、式典の際、3番まで省略せず歌っている為、記憶に定着している。今年、1学期終業式、2学期始業式で暑さ対策で簡略化したので、やや薄れたのではない。</p> <p><総務>集会の際、言葉だけでなく、学校生活に関連する形で内容に沿った話をする。現在1年次のオリエンテーション以外で、そのような機会が少ないので、2年次、3年次、全校集会などで実施。</p>	<p>○生徒のみなさんは校訓をよく理解しているのでこの改善策で十分かと思っています。</p> <p>○集会の際に校訓の内容に触れる機会を増やしてください。</p> <p>○校訓や校歌はきっかけがないと意識しないと思うので、1年次にしっかり知る機会をつくっておくことが大事だと思います。</p> <p>○繰り返し繰り返し校訓を伝えることは事前に体に身につく最善の方法だと考えます。「還暦の同窓会」でも母校の校歌が唄えるのはそのおかげであり、自分の誇りにもなっている。</p> <p>○良いと思います。</p> <p>○校訓は、関係者全ての共通目標であり、また多種多様な背景を持つ生徒・保護者・教員や、変化する地域社会をとりまとめる機能もあるのではないかと考えます。一層の改善を期待します。</p>	
	2	学校に来るのが楽しい。	3.8	B	4.2	A			A	<p><1年次>高校生活に慣れてきた一方で、高度な学習内容に対応しきれない生徒も少しずつ増えてきた。</p> <p><2年次>行事のたびにつながりが深まりあうよう計画し、行事の楽しさや教育効果について年次通信で保護者に伝えている。</p> <p><3年次>朝のSHRを実施したことで、担任から生徒へ声をかける機会が増え、状況の把握がしやすくなったのではない。</p> <p><1年次>課題提出などを徹底させ、基礎学力の充実を図る。</p> <p><2年次>学校行事、生徒会活動や部活動において生徒主体の活動を増やしていく。</p> <p><3年次>多面的に生徒の状況を把握するために、学年団や教科担当など担任以外の教員からの声かけを増やす。</p>	<p>○生徒・保護者とも評価が高いことで良好な高校生活が過ごせていることがわかります。改善策を行うことでこの状況を維持していただきたいと思っています。</p> <p>○保護者の評価もよく、改善策を進めていってほしい。</p> <p>○部活動においては、もう少し改善の余地あり。</p> <p>○1年生にとっては中学校と高校の違いは大きく、戸惑うことも多いと思います。学習内容への対応も大事ですが、2,3年生とのつながりも必要かと思っています。</p> <p>○「学校に来るのが楽しい」・・・高評価なのは素晴らしい。私たちの職場においても「仕事が楽しい」「会社に来るのが楽しい」と思える会社は伸びている企業であり、不況にも強い会社である。学校も同じ、そこには良好な人間関係があり、コミュニケーションがあるからと考える。この状態を継続してほしい。</p> <p>○良いと思います。</p> <p>○学校全体で声掛けを増やす取組は評価できると思います。</p>	

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
学校生活	3	学校での出来事を家庭でよく話をする。	3.6	B	3.8	B			B	<p><1年次>家庭の協力が得られているように思う。 <2年次>さまざまな発表場面で保護者に声かけをしている。 <3年次>生徒、保護者、教員が情報を共有するために、さらなる努力が必要である。</p>	<p><1年次>生徒が保護者と話すをする機会をできるだけ多く持てるよう発信の工夫をする。 <2年次>年次通信を充実させ、家庭で学校生活が話題なるようにする。 <3年次>年次通信を発行し電話連絡をした際に、家庭へ情報提供を積極的に行う。</p>	<p>○改善策を具体的な形で実施いただければよいと思います。 ○年次通信を充実させ、家庭で学校生活が話題になるようにしてほしい。 ○それぞれの家庭によって違いはあると思いますが、年次通信や学校通信があると良いきっかけができると思います。 ○1年生から3年生に成長するに従って、親との対話の減少傾向があるのではないかと？それも子どもたちの自立の証であるとも考えられるが、「学校の情報」が保護者に伝わっていないことが少なくないとも考えられる。生徒、保護者、教員の情報共有ということに注視してほしい。 ○良いと思います。 ○年次通信の活用や家庭への情報提供といった双方向で関心を高めるような取組みは評価できると思います。</p>
	4	年次通信、PTA広報誌など学校からの配布物を保護者に渡している。	3.7	B	3.7	B	3.9	B	B	<p><1年次>概ね保護者にわたっていると思われる。 <2年次>学校からの配布物が保護者に届かないことは残念なことである。 <3年次>生徒、保護者、教員が情報を共有するために、さらなる努力が必要である。</p>	<p><1年次>提出物の提出状況の悪い生徒には保護者に時折連絡を入れ、配付物が保護者の手元に届いているかどうかを確認する。 <2年次>年次通信の内容・発行時期等を常に検討する。 学校HPで配布を知らせる。 <3年次>配布する際に、配布物の内容や配布する意義を伝える。</p>	<p>○2年次からの改善策にあるように、学校HPで配布を知らせることはよいと思います。ウェブでの情報発信は慎重にせざるを得ませんが、できる範囲で発信していただき、保護者に学校HPに興味を持って見ていただくようにするとよいと思います。 ○配布物が保護者に届いていないのは問題である。確認やHPの利用も必要。 ○親にとっては学校からの配布物は大事な情報なので、時々確認いただけるのはありがたいと思います。家庭での指導も必要だと思います。 ○3と同様に子どもの成長と比例して、配布物は保護者に届かないと考えた方がよいのではないかと？その前提で保護者会や文化祭など、たくさんの保護者が集まる機会に発信した方がよいのでは。(配布物の内容確認を含めて) ○よろしく願います。 ○上記同様、(特に保護者に対し)学校生活への関心を高める取組は継続が必要だと思います。継続していただきたいと思います。</p>
教科指導	5	学校はわかりやすい授業を行っており、基礎学力が定着してきた。	3.3	B	3.4	B	4.1	B	B	<p><教務>教員と、生徒の実感との間に乖離がある。生徒自身が学習についての理解や定着を感じているかについては、まだ不十分な状態である。</p>	<p><教務>生徒が主体的に学びたいと感じられるような授業を実践していくために、さらに授業改善の取り組みを図りたい。</p>	<p>○この点については、教員と生徒の双方の努力が必要だと思います。先生方のさらなる教材研究もさることながら、生徒の学習時間も基礎学力定着と深い関係があると思います。生徒の自宅学習時間をより多くさせるような授業設計も有効かと思えます。 ○生徒、保護者ともに評価が低い。授業改善の取組に期待します。 ○教える側に問題あり。上手な伝え方、興味を持たせる様な工夫など、しっかり研修していただきたい。 ○「生徒が自ら学びたい」・・・興味を持たせる、なぜ必要なのかを気づかせる。この年齢になって学生時代それを理解して、行動していたらと考える・・・ ○評価に差がある原因についてしっかりと検証する必要があるのではないのでしょうか。さらなる授業改善を期待します。</p>
	6	家庭学習の時間が昨年より増えている。(H29家庭学習を2時間以上確保できている)	3.4	B	3.3	B			B	<p><1年次>家庭学習が定着している生徒は少ない。 <2年次>部活動と学習、または総合三科目と学習がうまく歯車がかみ合っていない。 <3年次>評価は昨年より上がっているが、まだまだ高いとは言えない。 <教務>教員と、生徒の実感との間に乖離がある。家庭学習習慣の定着が不十分な状態である。</p>	<p><1年次>宿題を定期的に適量を出し、各教科で点検をし、生徒の家庭学習の定着を確認する。 <2年次>家庭学習の時間を持たせるよう教育活動全体を通じて意欲を持たせる。 <3年次>自主的な家庭学習につながるよう、授業および課題の内容を検討する。 <教務>授業を通じて、予習・復習への取り組みの喚起など、授業改善とともに取り組んでいくべきである。</p>	<p>○学力の向上には家庭学習が不可欠だと思います。適切・適量の宿題の指示を科目間のバランスよく行うことがよいと思います。 ○指導を進めてほしい。 ○目標を持っている生徒が多い。大学のオープンキャンパス参加、職業人との集いなど、学校側としてできるだけサポートしていただきたい。 ○家庭学習の時間をふやし自然と机に向かわせるためには、特に1年次に定期的に宿題を出すことには賛成である。まずは習慣化させること。2年次には、それが当たり前の習慣(やらされるから自らやる)レベル。3年次は、自分が進みたい進路のために今何を勉強し、学ばなければならないかを自分で考え行動できるような取組。 ○良いと思います。 ○上記同様、評価に差がある原因についてしっかりと検証する必要があるのではないのでしょうか。さらなる授業改善を期待します。です。</p>
	7	学習意欲が高まっている。(H29学習意欲は高く持っている)	3.4	B	3.3	B						

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
教科指導	8	講習・補習・個別指導などを積極的に受けている。	2.9	C	3.1	C	4.1	B	C	<p><1年次>塾や予備校へ通っている生徒が大変多いように思われ、学校での講習にはあまり関心を示さないが、個別に質問に来る生徒は多い。</p> <p><2年次>講習を設定できる時間帯が限られているため、生徒も参加しにくいかもしれない。</p> <p><3年次>講習等を積極的に受けてない原因の追究が必要である。</p> <p><教務>教員と、生徒の実感との間に乖離がある。授業だけで手一杯で、講習まで手が回らない状態の生徒が多いのではないか。</p>	<p><1年次>塾や予備校に頼らざるを得ない状況は理解できるので、個別指導をより一層充実させたい。</p> <p><2年次>講習内容、時間設定など再検討が必要。</p> <p><3年次>模擬試験の結果や進路希望調査をもとに常に検討する。</p> <p><教務>授業のみで完結するのではなく、進路意識や授業自体への興味・関心の喚起など、さらなる学びへと向かう意欲の醸成を図る必要がある。</p>	<p>○講習等を積極的に受けていない原因がどこにあるのかを考え、生徒の実態に即した方策を検討し実施していただくとよいと思います。</p> <p>○講習会を有効に利用させたい。</p> <p>○「やらされている」から「自ら学ぶ」ことの意義を生徒との会話の中から引き出してもらえたら理想だと考える。「将来は何になりたいか？」が見えてくれば、その行為に「今何をすべきか？」が自分自身に落ちてくる。「将来の自分」「になりたい自分」を引き出してあげる。そこに注力してほしい。</p> <p>○時間に追われる生徒たちなので、今後も難しい問題かと・・・</p> <p>○評価の差が目立ちます。目標を定め、指標(開催回数、参加者数、参加後の効果等)を設定し、戦略的に取り組む必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>○生徒と教員の評価に差があり疑問に思ったが、評価を見てある程度納得できた。ただ、1年次から塾や予備校に頼らざるを得ないというのは少しおどろきである。</p>
	9	部活動と家庭学習の両立ができています。	3.2	C	3.4	B	3.6	B	B	<p><1年次>できている生徒とそうでない生徒との差が大きくなるように思われる。</p> <p><2年次>家庭における時間の活用方法が確立していないことや学習意欲の停滞が部活動との両立ができていないと感じる要因であると考えます。</p> <p><3年次>学習意欲を向上させる対策が必要である。</p> <p><生徒指導>下校時刻は遵守できているので、帰宅後の時間の使い方に課題あり。</p>	<p><1年次>部活動の顧問にも協力を求めていきたい。</p> <p><2年次>家庭学習の習慣化。</p> <p><3年次>自主的な家庭学習につながるよう、授業および課題の内容を検討する。</p> <p><生徒指導>部活動でも学習意欲向上のための呼びかけ、指導などを充実させる。</p>	<p>○下校時間の遵守ができており、家庭学習に費やす時間の確保はできているようなので、家庭学習を行う意欲を高める工夫を行うとよいのではないのでしょうか。</p> <p>○生徒、保護者、教員とも評価が低い。両立できるよう指導の充実をお願いしたい。</p> <p>○夏休みや冬休みなどの長期の休みの時の部活動の見直しを。身体を動かした後の勉強はかなり大変だと思います。部活動も効率よく、結果が出る工夫を。</p> <p>○部活動との両立は大変ですが、子どもたちにとってはどちらも大切だと思うので、お互い相談し合える友人関係を築ければいいなあと思います。</p> <p>○「時間の有効活用」・・・これは世の中に出ても避けては通れないことであり、社会人になったらこれで「評価」されることも少なくない。人は平等に24時間与えられている。「部活動が忙しいから学習時間がない」というのは言い訳でしかない。定期考査の点数が下がれば「補習」の義務化など、ぜひ高校生の中に「時間の有効活用」を身につけてほしい。</p> <p>○良いと思います。</p> <p>○具体的な改善策を講じていただくとよいと思います。</p> <p>○高校になっても主体的な学習が身につけていないというのは、小中学校での学習の課題でもあるのだろうか。部活動との両立など、個人の努力であるとは思いますが。</p>
進路指導	10	多様な選択科目の中から自分の進路・適性に合ったものが選択できている。	4.0	B	4.1	B	4.2	A	B	<p><教務>多くの科目を設置していること、また、多様な科目選択ができることについて、肯定的にとらえられている。</p>	<p><教務>生徒の進路目標や興味・関心や、時代の変化に対応した科目となっているか、今後の検証と精選が必要である。</p>	<p>○改善策の内容で結構かと思えます。</p> <p>○評価もよく満足です。</p> <p>○「多様な選択科目」「自分で選択できる」・・・これは今津高校の最大の利点である。今後も輝き光らせてほしい。</p> <p>○よろしくお願ひします。</p> <p>○評価できると思います。さらなる改善を期待します。</p>
	11	進路に関する適切な情報が提供されている。	3.8	B	3.6	B	4.1	B	B	<p><進路>年次の進行に応じた課題、目標設定のための情報、新共通テスト移行に向けた情報を提供しているが、その情報を活用できていない生徒について対策が必要である。</p>	<p><進路>個々の実力テスト結果分析について、生徒が結果をどこまで理解できているか、把握して、自己の進路実現に向けて具体的な対策を考える中で、情報を活用する力を伸ばす。</p>	<p>○卒業直後の進路だけでなく、改善策で示されているようなキャリアデザインの中での自己実現に関する問いかけとその情報を提供することもよいのではないかと思います。</p> <p>○保護者の評価が低く、進路情報を保護者に適切に提供する。</p> <p>○まだまだこの年齢では実力テストの結果において、どのように分析し、自分に「何が足りないか」「何を強化しないといけないか？」は本当の意味で分かっていないと思う。じっくりと時間をかけて面談する機会を増やしてほしい。</p> <p>○評価できると思います。</p>

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
進路指導	12	模擬試験等を継続的に受け、事後の学習に生かしている。	3.3	B	3.3	B	4.1	B	B	<p><1年次>教科によっては、講習授業を通じて、事前指導、事後指導をきっちり行っている。</p> <p><2年次>模擬試験の結果を、以前の結果と比較する中で自身の学力の推移を把握し、次の模擬試験につなげていくことが必要である。</p> <p><3年次>模擬試験等を受験する意義を理解させる必要がある。</p> <p><進路指導>実力テスト、模擬試験の結果には、分析と今後の対策などが個別に書かれている。この部分の活用、復習ができていない生徒の評価が低くなっていると思われる。</p>	<p><1年次>授業内容と模擬試験の出題内容を関連づける工夫をする。</p> <p><2年次>生徒一人一人に模擬試験の結果を振り返るシートを配布し、入学からの自身の学力の推移を把握させる。</p> <p><3年次>事前学習を充実させる。</p> <p><進路指導>各教科で、生徒の能力に合わせ、自ら結果の分析し、対策について実行できない生徒は、教師から解説する機会を増やし、対策を行えたか確認する指導も有効と思われる。</p>	<p>○模擬試験で出題された問題の振り返りは学習の強化に有効ですが、なかなか行うのは難しいかと思います。模擬試験を学力測定の機会としてだけでなく、学習の機会としてどうとらえるかが課題であろうと思います。</p> <p>○模擬試験の意義、結果に対する分析など、指導をきっちり行ってほしい。</p> <p>○生徒たちは分析結果を「作文」する能力は長けていると思う。また、話すことも上手に語ることができると思う。しかし、大人たちはそこを勘違いしています。そう表現または語ることが上手なだけで、自分自身の中に100%理解している子どもはまずいない。会話をすることで、そこに「気づき」「気づかせ」問題点、改善点を引き出してやってほしい。</p> <p>○11の生徒・保護者の評価と、12の生徒・保護者の評価に差があることについて検証が必要なのではないでしょうか。各生徒をマネジメントする力も必要になると思います。頑張っていたきたいと思います。</p>
	13	進路校外学習などを通して、職業観・勤労観が身に付いた。	3.7	B	3.5	B	4.3	A	B	<p><総合学科推進>1年次2年次とも、7月に進路校外学習、10月に総合校外学習を実施した。また、1年次は「産業社会と人間」において職業別ガイダンス、社会人インタビューなども実施しており、それらを通して職業観・勤労観を養うことができている。</p>	<p><総合学科推進>進路指導部や年次とも連携を図りながら、より有意義な校外学習となるよう訪問先を吟味する必要がある。また、生徒自身がより主体的に学ぶ機会となるよう、訪問先とも連携を図り、事前事後学習もさらに充実させていく。</p>	<p>○普通科と比べ総合学科は「産業社会と人間」を学べることが特徴であろうと思います。改善策にあるように有意義な学習を通してそれぞれの職業観・勤労観が深まっていたことを期待しています。</p> <p>○さらに充実させてほしい。</p> <p>○生徒の職業観・勤労観が高評価なのはうれしい限りである。</p> <p>○いい改善策だと思います。人口減少社会の到来や地域企業の人手不足という構造的な課題に直面するなか、若者の地域定着や地域の将来を担う産業人材の育成・確保が不可欠な状況となっています。さらに有意義な取組みとなるよう協力は惜しみません。</p> <p>○生徒と教員の評価に少し差があるが、体験的な学習などは地域も大いに協力できると思われるので活用してほしい。</p>
	14	「産業社会と人間」「総合学習」「課題研究」など生き方について考える機会が多い。	3.9	B	3.7	B	4.3	A	B	<p><総合学科推進>概ね良好であるが、総合三科目の学びは、総合学科の教育課程において根幹となるものであるため、より主体的な学びの機会となる必要がある。</p>	<p><総合学科推進>総合三科目のねらいや本質について教師自身も十分に理解し、共通認識を持って授業の指導に当たることが大切である。</p> <p>これまでの取り組みを生かす一方で、新たな取り組みを試みることも必要である。</p>	<p>○改善策にあることはなかなか難しいことではありますが、推し進めていただきたいと思います。</p> <p>○満足している。</p> <p>○校外学習を通じて、進路の選択肢を広げることができれば良いと思います。どんな職業があるのか、まず知ることが第一歩だと思います。</p> <p>○生徒自ら「生き方」「在り方」を考えさせる本校の教育を、今後もぶれることなく推し進めてほしい。</p> <p>○上記同様です。</p>

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
生徒の自主性	15	総合学科での学習を通して、課題設定や課題解決の能力が伸長した。(H29「総合学習」や「課題研究」を通して、課題設定や課題解決の能力が伸長した。)	3.7	B	3.6	B	4.2	A	B	<総合学科推進>課題解決型の学習に取り組ませており、着実に力がついていると考えるが、より積極的な取り組みが必要である。	<総合学科推進>教師自身も共通認識をもち、各教科において、生徒に課題解決の成功体験を積み重ねさせる工夫をしていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決力の向上は、学校が積極的のその場を用意することが必要だと思います。学校行事や総合学習、課題研究だけでなく、できれば科目の中で取り扱っていただくとよいのではないかと思います。 ○満足している。 ○何か問題にぶち当たった時、色々な課題が出てきて、思い、悩み、考え、そんな時間を持つ時に、人間は一番成長できると思う。押し進めてください。 ○成功体験を積み重ね工夫を継続していただきたいと思います。
	16	生徒会活動やホームルーム活動では主体的に活動している。	3.3	B	3.4	B	4.0	B	B	<生徒指導>昨年度と大きな変化はなし。	<生徒指導>生徒会は、ING部などとも協力して、積極的にボランティア活動に参加できる機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○なかなか難しい課題ですが、改善策にある方向で押し進めていただければと思います。 ○生徒の評価が低いのが気になる。生徒全体の主体性を育成してほしい。 ○積極的に参加することが苦手な子もいると思いますが、やってみたい気持ちのある子がさりげなく参加できる活動があれば良いと思います。 ○「指示待ち人間」というのは社会においては多い。決して悪いという意味ではないが、時には自主的に考え、行動してほしいとも、経営者の立場で「思う」ことが多い。「主体的」「自分で」という行動ができるよう、今のうちから習慣化してほしい。 ○継続していただきたいと思います。
		*教員評価 上段(生徒会活動の指導) 下段(HR活動の主体的運営)					3.7	B				
17	文化祭や体育大会等の行事に積極的に取り組んでいる。	3.9	B	4.0	B			B	<生徒指導>昨年度と大きな変化はない	<生徒指導>準備期間の活動を充実させ、主体的に参加できるよう工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策の内容で結構かと思っています。 ○満足している。 ○積極的に取り組んでいる姿が見られ、とても良いと思います。ここでの頑張りを、勉強や部活動に生かしてほしいです。 ○学校行事は子どもたちも積極的に参加している印象を受けました。 ○数々の学校行事、部活動、そして大切な学習、そんなタイトな時間の中で、文化祭、体育祭に時間をかけることは大変だと思いますが、10年後、20年後、この思い出がとても良い「共通の財産」になることを信じて頑張ってください。 ○よろしく願います。 ○継続していただきたいと思います。 ○学校生活への生徒の積極的な姿勢が見られる。 	
生活習慣	18	集会などを通して、学校や学年の生徒指導方針がよく説明されている。	3.7	B	3.6	B	4.2	A	B	<生徒指導>昨年度よりは、0.1ポイントほど上昇	<生徒指導>集会の機会を増やし、さらなる指導の徹底をはかりたい。	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策にあるように、十分な説明と生徒・保護者の理解を深めていただきたいと思います。満足している。 ○自転車の通学ルールの行動、遵守は良好だと感じています。 ○お願いします。 ○学校方針を、適切な場で、わかりやすく伝えていただいた結果だと思います。
	19	挨拶・時間厳守・携帯電話の使い方などの基本的な生活習慣が身に付いている。	4.0	B	3.7	B	4.0	B	B	<生徒指導>昨年度と大きな変化はない	<生徒指導>携帯電話・スマートフォンの使用においては、課題も多く、学校だけでは解決できない部分も多いので、保護者への協力も呼びかける。	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策の内容で結構かと思っています。 ○満足している。 ○スマートフォンの使用は、生徒よりも先生が悪い。大人として、教師として、もう一度自覚を。先生も持参禁止にする方向で、学校の電話で充分仕事はできるはずですが。 ○災害も多い中、連絡手段としての携帯の必要性は感じますが、友人間でのトラブルの源にもなるものなので、家庭での指導も必要だと思います。 ○年に数回本校を訪問する際感じることは「気持ち良い挨拶」ができていいると思うことです。ここはもっと評価してあげて良いのではないのでしょうか。 ○良いと思います。 ○訪問した際も生徒達から挨拶があるので感心しています。指導の成果ではないかと思えます。

観点	No.	質問項目	生徒評価 673名		保護者評価 436名		教員評価 57名		総合評価	評価	改善策など	「改善策」の評価
人権	20	保健室・教育相談室など、悩み事を相談できる体制が整っている。または、親身になって相談に乗ってくれる先生がいる。	3.6	B	3.7	B	4.3	A	B	<保健>保健室では、様々な生徒たちの相談等で来室者数も多く、気になる生徒にはキャンパスカウンセリングを勧め、カウンセラーとも連絡を密にとっている。	<保健>カウンセリングマインド研修会を実施し、生徒たちが相談しやすいような雰囲気作りに努め、保健室と年次との連携をさらに強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な研修会の実施は有効だと思います。年次と保健室、それ以外の教員との連携を深めて生徒が相談しやすい環境づくりを推進していただきたいと思っています。 ○進めてほしい。 ○心を病んでいる生徒の一部には、心無い先生から言葉があります。その言葉によって、部活動を辞めて、学校まで辞めた生徒がいます。相談しやすい環境をつくるよりも、その原因とならないように、先生たちを指導してください。 ○親にも相談できないことを話せる相手は必要だと思います。 ○保健室を利用する子どもたちの何よりの心の拠り所は、保健室の先生の温かい笑顔とやさしい、時にはきびしい、子どもたち一人一人に対する言葉です。一番本音が出る(悩みを聞いてもらいたい)場所でもあると思うので細やかな連携をとってほしい。 ○とても必要とされる所なのでよろしくお願ひしたい。 ○評価の差が目立つ。なぜ差があるのかを検証し、今後の改善策に反映することが必要ではないかと思っています。
	21	いじめのない学校づくりが進められている。	3.8	B	3.8	B	4.3	A	B	<生徒指導>保護者・生徒とも0.1ポイント上昇。	<生徒指導>教師との評価に差があるので、アンケートだけに頼らず、日々の学校生活の中でも早期発見、早期対応の姿勢を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策の内容で結構かと思っています。 ○満足している。 ○教師間同士の問題。 ○いじめの早期発見、組織的ないじめ防止など、悲惨な結果を招かぬよう、大変ですがよろしくお願ひします。 ○よろしくお願ひします。 ○なぜ差があるのかを検証し、今後の改善策に反映することが必要ではないかと思っています。 ○「いじめ」というシビアな課題で、生徒と教員の間には差があるというのはどういうことか、原因追求が必要なのだろう。
	22	色々な授業や行事を通じて、命と人権を大切にす教育が行われている。	4.0	B	3.8	B	4.0	B	B	<図書・人権>今年度は「生徒にとって身近な人権問題(いじめなど)について考える」ということで、前期は映画を通して他者とのコミュニケーションについて考え、後期はいじめ問題を切り口に、「勇気」について語りあった。教科授業では各教科、教科書に沿って適切に行われている。	<図書・人権>教材や指導方法について事前検討会を持ち、指導しやすいように修正などを協議し合えたことは大きな前進だと考える。そのためには、余裕をもって取り組めるように早期に計画を立てることが重要である。講演会については、実際に講演などを聴いた人から選定することが望ましいと考える。また、校外研修会の適度に活用するため、随時紹介していく。	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策の内容で結構かと思っています。 ○満足している。 ○他者を尊重できる人に育ってほしいという思いはあるので、視野を広げる意味でも講演会等は必要だと感じます。 ○人間社会での「根幹」であると思います。ぜひ地域も協力して取り組んでいきましょう。 ○事前検討会を開催し指導方法を協議するなど、いい改善策だと思います。
その他	23	(勤務時間の適正化)勤務時間の適正化を目指し、教職員一人一人が業務改善に取り組んでいる					3.4	B	B	<教頭>評価はBであるが、教員評価の中では低評価である。日々の業務に追われ、ゆとりのない実態が評価に表れている。	<教頭>教員一人一人が、業務改善に向けて取り組むよう意識改革を進めることが必要である。定時退勤日、ノー部活動デー、ノー会議デーを学校挙げて推進し定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は仕事をそれぞれどこまで行うべきなのかの議論を深め、学校の魅力を下げることなく、できるだけキャリアライフバランスの取れた職場になるようになっていただきたいと思っています。 ○評価Aになるよう努力を！ ○外部の優秀な人材を活用して、少しでも先生方の負担を減らすことを考えてください。 ○高校だけに限らず先生に余裕がないと子どもたちへの指導も負担になるばかりだと思いません。部活動の外部指導者の導入など、先生方にも余裕をもって子どもたちとの関わりを楽しんでほしいです。 ○最近テレビ等でも取り上げられ、保護者も含め関心度もアップしていると思います。「学校まかせ」にしない活動、行動が大切。教師の皆様、みんな考えていきましょう。 ○いい改善策だと思います。終了時間を意識することでムダな業務が削減され、結果的に業務改善に繋がることも多いと思います。さらに、必要な業務・不要な業務を切り分け、PDCAサイクルを回し、組織が一体となり業務改善に取り組むことで一層効果が表れると考えます。 ○先生方がより良い勤務状況の中で、生徒一人一人に向き合われることを期待する。